

7 いじめ防止プログラム

(1) いじめ未然防止の3観点

いじめを起りにくくする（未然防止）ためには、「自尊感情」「自己有用感」「規律」「学習意欲」を育むことが重要である。

①居場所づくり	②絆づくり	③環境づくり
すべての児童が安心でき、他者から認められている、自分が必要とされる存在であると感じ、落ち着いて学べる場をつくること、学級や学校を落ち着ける場所にしていくことで、児童のストレスや感情をコントロールする力、自己存在感・自尊感情を高めることを目指す取組	日々の授業や行事等において、すべての児童が互いの違いを認め合い支え合い、他者とのかわり、他者の役に立っていると感じながら、主体的に取り組む共同的な活動を通して、活躍できる機会をつくることで、児童の自己有用感の向上、人間関係を形成する力や社会性の育成を目指す取組	すべての児童が安心して落ち着いて主体的に学習や生活を送ることができる学習環境、教室・学校環境を整備することで、児童の自己実現を図る自己指導能力の育成、児童が学校生活を営む上で必要な規範意識の向上を目指す取組
主体は教職員	主体は児童	主体は教職員、児童

(2) 学校の教育活動の「4項目」

いじめの防止に向けた組織的・計画的・継続的な活動を効果的に進めるため、「モデルプログラム」では、いじめの未然防止の活動を、学校の教育活動という点から、次の4項目で分類しています。

ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム

イ 子ども会議等の児童会活動との関連を図ったプログラム

ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム

エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム

	教科・領域の関連	児童会活動との関連	社会教育との関連	その他
居場所づくり	○ 芦野小学校授業スタンダードに基づく指導の充実（話す・聞く・書く・その他） ○ インクルーシブ教育の推進 ○ 放課後スマイルの充実	○ 教育相談の手法を取り入れた学級づくり	○ 地域と触れ合う活動（外部講師） ○ 地域環境整備活動（花壇・清掃） ○ スクールカウンセラーとの交流機会の充実	○ 道徳教育の充実 ○ ミュージックタイムの推進 ○ めざす子どもの姿を実現する学年・学級経営
絆づくり	○ 『給食交流会』の指導の充実	○ 挨拶運動の取組 ○ 所属感・連帯感を深める集会活動 ○ ボランティア委員会の取組	○ いじめについて考える集会 ○ 地域と触れ合う活動（外部講師）	○ なくそうネットトラブル
環境づくり	○ 話合いのルールなどの掲示 ○ 伝える活動の充実	○ いじめ防止に関わる取組 ○ 地域の安全マップづくり	○ 外清掃 ○ 食育指導	○ ネットいじめ防止の意識を高める環境づくり ○ 情報モラル教室